

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	平成27年度第4回さむかわ男女共同参画プラン推進協議会		
開催日時	平成28年2月2日（火）午後3時00分～午後4時30分		
開催場所	寒川町役場 3階 議会第1会議室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p><推進協議会> 出席委員：三澤会長、橋本副会長、大関委員、小島委員、野田委員 加藤委員、中島委員、山本委員、及川委員、原委員 欠席委員：松谷委員、中村委員、矢澤委員 <事務局> 中島町民部長、芹澤協働文化推進課長、山口協働文化推進課主査、山本協働文化推進課主任主事 <傍聴者> なし</p>		
議 題	<p>1 「第4次さむかわ男女共同参画プラン」（案）パブリックコメント実施結果について 2 第4次さむかわ男女共同参画プラン（素案）について</p>		
決定事項	○今回の会議録承認委員に加藤委員、山本委員を指名。		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1 開会 芹澤協働文化推進課長</p> <p>2 あいさつ 中島部長</p> <p>3 議事録承認委員の指名 今回の承認委員に加藤委員、山本委員を指名。</p> <p>4 議題 （1）「第4次さむかわ男女共同参画プラン」（案）パブリックコメント実施結果報告書（案）について 事務局より説明</p> <p>山本主任主事 ・資料の有無確認。 ・第4次さむかわ男女共同参画プラン（案）パブリックコメント実施結果報告書（案）について（資料1）説明。12件のパブリックコメントの意見に対し、第4次さむかわ男女共同参画プラン（素案）では意見を踏まえた修正等はなく、事務局では原案どおりと考えている。</p> <p>三澤会長 推進協議会の中で素案を考えたように、パブリックコメント</p>		

を今回の素案に反映させなくていいのではないかと、という1つの判断です。これについて、それで良い、この部分がわからない、この部分は反映させてもいいのではないかと、ということがありましたら、質問を含めてご意見をいただければと思う。

小島委員 返し方として、この案を決定してそれを町民に返すという考えか。

協働文化推進課長 パブリックコメントの制度について説明する。

町として、こういうプランを作りたい、こういう中身で作りました、ということに対して、町民の方から広くご意見をいただきたい。いただいたご意見に対し、町としては、反映すべきというものに対しては、見直しをする。今回いただいたご意見で、反映するものはないと町が判断したものは、このままで考えている。

町の考えを整理したものに対し、ご意見いただき、最終的に町の内部に諮って了承いただき、議会に報告をして確認をいただいたら、ホームページ等で公表し、情報公開コーナーなどに配置し、いただいたご意見に対し町としてはこう考えています、このように対応しました、というところを報告するというのが、パブリックコメント全体の流れとなる。

今日の会議では、事務局としていただいたご意見に対し、考え方や回答を作った案について、いやこれは違うのではないかと、反映すべきではないかと、いうところがございましたら、町の回答、考え方の部分に対して、委員のみなさまからご意見いただければと思う。

小島委員 セクハラの関係で、目標数0（ゼロ）というのが、内在するとか隠してしまうという印象。目標値0はわかるが表現のしかた、0（ゼロ）の状態を目指すぐらいのほうがいいのではないかと。

協働文化推進課長 目標値0（ゼロ）のものを、何でわざわざ載せるのかというご意見。町としては0（ゼロ）であることが望ましいし、0（ゼロ）という状態を目指すというのが、各種ハラスメントが根絶される状態、0（ゼロ）である状態を目指すという表現から目指しますというように言い切ったほうがいいのではというご意見でよろしいか。

山口主査 ※印以降をとってしまうのはどうか。

小島委員 こういうことはなかなか言い出しにくい問題なので、逆に断定しすぎると、それを守るために目標を達成しなくてはならないという職員のプレッシャーになって、逆に押さえつけられているという印象になるのではないかと。皆さんはいかがですか。

三澤会長 小島委員のほうから「0（ゼロ）とします」から「0（ゼロ）を目指します」というご意見がございましたが、目指すという表現を使うのであれば、私見ですが、昨年度1件の相談件数があったので、その場合そういう状況が起こらないように、今後は0（ゼロ）を目指すというのであれば、文言としてわかるが、基本的に目標というのはそれを達成することが目標だと思っておりますので、そういう意味である意味断定的な言い方で良いと

思う。それを現実には起こってしまったかも、起こるかもしれない、相談件数があがっていくかもしれない。開かれた職場であり、男女が共に「相談できない」という状況を作らないということが大事だと思うので、「0（ゼロ）を目指す」というより「0（ゼロ）とします」で私は良いと思う。中島委員いかがでしょうか。

中島委員 私の職場は保育園なので、女性が多く1人男性の保育士がいる。男性職員が言いやすい雰囲気を作らなければいけない。施設長としてはそこを目指す必要があると思うので、私もここは、言い切ってしまったほうがいいのではないかという気がする。

山本委員 相談、処分がない状態を目指すという事で異論がないが、事業内容に「相談体制の充実を図ります」と書いてあるのと、その指標目標数値で相談件数が0（ゼロ）という所の違和感がある。「相談体制の充実を図ります」と言っているのに0（ゼロ）。そのところは」というと、「相談がない状態を目指しているから」というのはわかるのですが、最初の所に「相談、処分がない状態を目指して、相談体制の充実を図ります」と入っているとまだ違和感がない。

小島委員 目指すのは良いが、町だから模範にならなければいけない。町の名誉のためにも相談はあるけど、相談と処分となるとむしろ処分が0（ゼロ）のほうがいいわけで。相談はあってもいいけど、処分は大事に至らず改善していくという、起こらない状況に改善していくというのが大事なので、ここで相談と処分となると。相談はどんどんしても良いと思うが、言葉の暴力とかあり、私は言われて嫌だけれども、この人は同じこといわれても平気など、いろいろ差がある。

相談窓口はいつでも開いていて、安心できるようアドバイスしたり。第三者機関がありますよね。そこが機能しないのではないか。

及川委員 相談件数を目標にするのはおかしい。例えば来た件数に対し100%対応するとか。結果、来た件数とのべ件数、相談の案件を一緒に載せるけど、それに100%対応しているかどうかを目標にすればいいのですかね。相談件数を目標値にするのがおかしいのかもしれない。気軽なことでも相談してもらって良いのですよね。充実している訳ですからね。

協働文化推進課長 相談しやすい職場の環境づくりと相談体制の充実を図って、セクハラを理由に何か処分されたりすることがないようにしたいという事になると、相談というのを取ってしまったほうがいいのではということでしょうか。各種ハラスメントを理由にした処分がない状態を目指すため、という形でもよろしいか。セクハラだけではなくパワハラ、マタハラも含めてそういったことを理由に処分を受ける職員が、この職場にはいなくなるという事が目標ということでもよろしいか。パブコメのほうの回答も、人に対して相談窓口や相談の体制の充実、相談しやすい職場の雰囲気づくりに努めて、実際に各種ハラスメントによ

る処分者がいない状態を目指す、それが各種ハラスメントが根絶される状態になるので、0（ゼロ）という目標という形でのよろしいか。根絶される状態を目指しますという形で。

三澤会長 27 ページの上「町職員間における各種ハラスメントの根絶と」を「各種ハラスメント根絶に向けて、相談しやすい職場の雰囲気づくりや相談体制の充実を図ります」になるとどうでしょうか。一番はハラスメントがないことが良いから、ハラスメント根絶に向けて相談しやすい職場の雰囲気づくりや相談体制の充実を図ります。この下の所はハラスメントによる処分の件数ということで整合性がとれる。

小島委員 些細な事でも相談するところがないと、困りますね。

三澤会長 パブリックコメント8の考え方が、今の文言で良いのかということと、それに合わせて町の考え方も変えていただくということでのよろしいか。

協働文化推進課長 そこを目指すために、事業内容と指標については、表記を一部修正するという事で町の考え方を記載する。

三澤会長 現時点で、この状態の文言を加筆修正できるのか。

協働文化推進課長 パブリックコメントを受けて、誤解しやすく読まれてしまうため、町のほうでより分かり易い表現にさせていただいた。目標についても、より分かり易い表記にして、目指すところはハラスメントの根絶であると、回答するという事でよろしいか。この件につきましては、担当の総務課と協議して整理させていただく。

小島委員 パブリックコメントの12に概要版作成とあるが、これは実際に作られるということでのよろしいか。

山口主査 プランの冊子とは別にA3になると思います。ダイジェスト版ということで概要版を作る予定でおります。

小島委員 部数はどのぐらいですか。

協働文化推進課長 手元に予算の資料がなく、申し訳ございません。

小島委員 回覧で、町のプランが3件ぐらいあり、意見を書いて下さいとあったが、実際はプランの内容はホームページを見て下さいだったので、回覧とかに目に触れるようなそういう配慮が必要かなと思った。あの回覧だとパブリックコメントが1件しかないというのは、目に触れないし、ネットで見なさいとか配布しているから行きなさいと言われても、なかなか行けないと思うので、そういう概要版ぐらいは予算があるとは思いますが、目に触れるようお願いいたします。

山口主査 回覧版を回すにあたり、プランの概要をまとめたA4表裏1枚の資料を添付する予定でしたが、自治会長連絡協議会にお諮りしたところ、今回、パブリックコメントが4件あるということもあり、自治会長からA4表裏1枚ではとてもプランの全容がわからないと、ご意見があった。

また、各町内会の役員の皆さまにこれをお配りするときに、自治会長さんがそれぞれのプランのことについて説明を求められたら説明ができないということで、資料の添付詳しくは町のホームページを見たり、施設に置いてあるからという程度の内

容にとどめておいてほしいと自治会側から要請がありまして、本来、担当課としましてはA4 ダイジェスト版を付ける予定でしたが、自治会長さんからそういうご意見が多かったので、今回予定していたものを外して1枚のパブリックコメントをやり直すという回覧のみしか回せない結果となった。

協働文化推進課長 自治会の回覧に回してはということですが、「パブリックコメントを知っていますか」という町民向けのアンケートに「知っている」という人が7%ほどしかいなかった。パブリックコメントという制度自体の認知度をもっとあげないのご意見がいただけないのではないか。広報等にパブリックコメントをやっていますよと載せても、広報自体を見ない方も多いので、自治会の御協力をいただいて自治会回覧を実施したらどうかということになった。

自治会回覧の実施にあつたては、プランの中身の概要がわかるものを付けたほうがより分かり易いのではないかといいことだったが、逆に概要で羅列したようなものが載っていても意味がわからないのではないかといいこと、そもそもがパブリックコメントの認知度を上げたいということであれば、パブリックコメントをやっていますという回覧で回したらどうかということ、そのような形にさせていただいた。プランが確定をしましたら、こういう中身ですよということ、A4よりもページをさいたもので概要版を作ることができればと考えている。

橋本副会長 パブリックコメントという言葉自体も、わからないという方もいらっしゃる。若い方はカタカナ文字に精通されていますが、居住している地域は、年が上の方が多くて、回覧版が回ってきてもちよつとわからないという方もいる。男女共同参画プランさえもわからない、結局それだけ認識が少ないのではないかと。回覧版を回すにしても、もう少し具体的なやり方がないのかと組長として思う。せつかく回覧版が回ってきてわからずに回してしまうという方も中にはいる。

協働文化推進課長 そのあたりも、パブリックコメント（町民の皆さまからのご意見をいただきたい）ということ、明記し、パブリックコメントはこういうことですよということを、説明も踏まえて、各プランについても、こういう趣旨で作っているという簡単な説明を加えたものを回覧していただくようにした。具体がわからないとなると、この冊子をつけないとわかりにくい。4つのプランにこの冊子をつけると相当な量になってしまうので、どこをとるかという中では、まずは今年度から回覧という形で、まずは「パブリックコメント」という言葉、制度を知っていただくということで、始めさせていただいた。この後、いくつかのプランでパブリックコメントを実施する予定がございしますので、何回か目にするようになられますと、プラン以外でもパブリックコメントを実施することもございしますので、これに関しても町民の意見を聞いているんだということ、まず皆さまに知っていただくというところで考えている。また、周知の方法もできるだけ工夫して、分かり易いものを順次見直

しできたらと考えている。ご意見ありましたら、ぜひお寄せいただければと思う。

町民部長 確かにわかりにくいので、今後の方向性ですが、パブリックコメントで冊子を端から端まで全て見ないと何か書けないというのは困るので、ある程度ポイントを絞って、例えばこの協議会の中ではこういう事を町民の皆さまにお聞きしたいというポイントをいくつか絞って、それをお聞きするようなやり方にしたほうがいいのかと思っています。できる限り今は知名度を上げることが最優先になっていますので、少しずつわかりやすく、どなたからも意見をいただけるような形が理想ですので、宜しく願います。

三澤会長 パブリックコメントは、協働文化推進課が担当ですね。何度も回覧版が回ることで、目に止まってパブリックコメントという事がだんだん目や耳に入ってくると、変わってくるのではないか。

意見ですが、現在策定しているのは第4次ですよ。そうするとその前に1、2、3があって、どんなふう策定し、町の男女共同参画が変わってきたという成果や、この部分がまだまだですよということがダイジェスト版になると、こんなことをやっているから変わってきたなど、やる価値があると分かり易くしていくことが、もしかして私も会議に参加してみよう、意見を反映させる場所がある、パブコメ書いてみようかな、という動機になるかもしれませんが、いきなり第4次プランがこうなりましたと来ても、私には関係ないとなってしまうかもしれないので、分かり易い文言で、やってきた成果、できていることだっただけたくさんあると思うので、社会情勢も変わっているとは思いますが、そのあたりも載っていると、より分かり易いのではないか。

及川委員 パブコメの様式を見ると、住所、氏名を明記しないと提出できないものになっているが、藤沢市では氏名などを書かなくても出せるところもあるので、件数が増える。管理が難しいので、所在を明らかにして意見をいただいていたところもあると思うので、全部できないとは思いますが、いろんな人に書いてもらうチャンスを増やすという意味では調整できる部分ではないか。

協働文化推進課長 寒川町では自治基本条例で、町民として責任ある発言をということを謳うなかで、パブリックコメントの対象者を町内在住、在勤、在学の方に限定をしている。ご住所、お名前については町民の責務として責任ある発言、町民としての責任をもっていただきたいというところで、そのようにしていますが、今後このような書面だけではなく、例えば説明会的な、参加していただいてその場で意見をいただける場を作っていくのもパブコメの一手法という形で考えられるのかなと思っていますので、このような部分も順次考えていければと思う。

三澤会長 お一人のかたから12件いただいたパブコメに対しては、ただ今の、素案27ページ「⑩町役場における各種ハラスメントの

防止」について加筆修正するというのをこの委員会のなかで決定し、変更かけていただくというところのみで、進めてよろしいか。

推進協議会委員 了承

三澤会長 それでは「第4次さむかわ男女共同参画プラン」(案)パブリックコメント実施結果について終了させていただきます。

(2) 第4次さむかわ男女共同参画プランについて

山本主任主事 前回会議からの変更点について説明

小島委員 9ページ 「2女性の活躍のための支援(1)女性の人材育成の充実」。これまで女性の少なかった分野の一例があるが、寒川に林業や鳥獣保護管理などはあるのか。もう少し臨場感がある事例がいいのではないかと。タクシー・トラック・バスというのは業界を指しているのか、運転する人、業界を指しているのか。事例がよくわからない。

山本主任主事 国の資料を参考に抜粋させていただいた。

小島委員 寒川では違和感。林業や鳥獣保護管理など。

山本主任主事 あくまでも一例なので。

小島委員 タクシー、トラック、バスは実際に運転している人なのか、業界なのか。載せなくても良いのではないかと。載せるならもう少し臨場感のあるものを。

山本主任主事 前回一例をとというご意見があったので載せましたが、載せないほうがよければ。

小島委員 勤労者実態調査をする中で、建設業は確かに少ないし消防団も女性は少ない。タクシーとか運輸業は少ないので、そういうふうにしなないと、業界やいろいろなものが混ざっている。

及川委員 女性の参加が少なかった分野や管理職への登用で並ぶものとしておかしいという違和感。これが例えば業種でなければわかるが。

小島委員 いろいろな物が混ざっている。

及川委員 分野は広いので。

協働文化推進課長 職種というと消防団は異なる。職業ではなく社会に参画する、自治会役員などあるのでそういうところを全部ひっくるめて分野という形にしている。

三澤会長 女性の参加が少なかった分野が、自治会とか消防団があるがこれは職業ではないのですよね。「*」の参画が少なかった分野の例では「会社で仕事するのは参画というのでしょうか。」と思うのでこの職種は取った方が分かり易い。女性人材育成なので職種も入っている。

協働文化推進課長 管理職などもひっくるめてなので、分野となっている。

山口主査 一番上のところで「職場や地域において」とあるので、職種もあり地域社会もあるので。

協働文化推進課長 職場でのリーダーでもあり、地域などの活動のリーダーということもひっくるめてということですね。

及川委員 地域事業とか

山口主査 そういう意味では、分野という大きな言い方でくくらせていただいている。前回のご質問で女性の参画が少なかった分野というのがわかりにくいということで、国の資料の中からそこにあった文章を抜粋してきた。

及川委員 分野の中身として、こういうものと思っているものと「*」の中身があってれば良いが、違うのであれば持ってくる場所が違っている。せっかく説明しているのに町が言いたいことではないならば。今の説明を聞くとわかる。

協働文化推進課長 後ろの林業とか鳥獣保護管理等などを除かせていただいて、職業でもあり地域の活動でもありというところでいくつか羅列する。自治会の役員などは入れたほうがわかりやすいですかね。

三澤委員 これは国のどこからか、国がこれまで参画が少なかった分野と書いてあるのですか。職種ではないでしょうか。こういう職種も少ないのにだからこそ、管理職への登用もありませんよというのであれば管理職の後ろに「*」を持ってきてもいいのですが、女性の参画が少なかった分野は自治会や消防団などいろいろな地域活動みないたものに参画が少ないのだとすると、これは取るか職種として参画が少なかった部分、仕事は参画というのか。

小島委員 前のページの寒川町事業所の管理職人数構成には、建設業や製造業とある。金融とか保険業も女性が少ない。例えば業種で明記するとか。

中島部長 これまで女性の少なかった業種とかそういう業種でとりまとめればいいのですが、分野とすると消防団が入ってきたりして難しい。

橋本副会長 参画という言葉は、職業という意味合いとは違うと思う。ここに書いてある一例がありますよね。消防団ではなく消防士となれば職業になりましょね。消防団はボランティアでやっている。そのあたりのとりかたがちがう。全部入れると分野になるのかな。

協働文化推進課長 施策の基本的方向によって、所属する組織でも企業であったり、いろいろな活動の団体であったりするので、そこで女性の人材育成を図っていかなければいけない。

三澤会長 どなたか案はありますか

協働文化推進課長 「*」の部分を削除しますか

小島委員 町民のかたに想像してもらおう。

協働文化推進課長 上の部分で職場や地域という言葉があるので。所属する組織ということで、職場だったら会社、地域なら自治会などいろいろな地域活動の団体というイメージで捉えていただけるのであれば、残すことでかえって混乱してしまうので、外させていただければと思いますが、委員のみなさまはいかがでしょうか。

三澤会長 こちらについては削除する。

小島委員 14 ページの 7 行目「男女共同参画社会に関するアンケートで

は…」とあるがこれは何のアンケートなのか。アンケートの正しいタイトルはありますか。これだと国でやったアンケートなのかなと思った。

山口主査 13 ページの⑥⑦寒川町「男女共同参画社会に関するアンケート（平成 27 年 5 月）集計結果」とありますのでそれと同じように入れておく。

小島委員 どこが出典なのかわかるようにお願いします。

山本委員 前回欠席したのでそういう議論があったと思うが、31 ページ②育児休業取得の促進で「※●事業費及び指標・目標数値について特定事業主行動計画策定時に記入予定」とあるが、どういう意味か。

山口主査 特定事業主行動計画を寒川町も作る予定で、3 月に予定されており、総務課の人事の担当が作っていますが、そちらの数値がまだ確定しておりませんで、そちらと整合性をあわせるために、そちらが決まり次第同じ数値を入れさせていただく予定。特定事業主行動計画が今年度中に急遽作るよう国から降りてきたもので、まだ整理作業の途中ということになるので決まり次第入力する。

協働文化推進課長 国の女性活躍促進の法が制定されたことに伴いまして、従業員が 301 人以上の企業は必ず女性の活躍促進のための行動計画を作って、こういう形で女性の登用を進めますとか、そういう位置づけがされた。民間企業でない自治体も計画をつくりなさいということで自治体版が「特定事業主行動計画」になる。女性の登用を進める数値目標を掲げて、行動計画をつくりなさいとなっている。それを平成 28 年 3 月末までに作りなさいという形になっておりますので、掲げられた目標数値とリンクしてこちらに入れる予定。

山本委員 計画ができるときにはここに指標・目標数値も入るということでよろしいか。育児休業取得率の「*育児休業の対象となる職員の人数が未確定なため指標が設定でない」という文言も削除されるか。

協働文化推進課長 はい。

山本委員 22 ページの①管理職への女性登用の推進についても同様か。

協働文化推進課長 はい。

山本委員 「*対象者がいない場合もあり職員数における割合を指標として掲げることは困難である。」と書いていますが、入るということでよろしいか。

協働文化推進課長 法律が作られて数値目標を定めなさいと決められてしまったので、職員の構成などを踏まえて作る予定であると総務課から聞いている。全職員の占める女性割合から換算してという形では単純には示せない、数値目標が出せないの職員構成や管理職のポストですとかを勘案し、検討した上で数値目標を定めることとなると思う。

山本委員 計画ができるときには、ここに最終的に数値は入ってくるということですね。

パブコメ実施結果報告 3 ページの No. 5 の町の考えとして「目

標数値については、女性職員の割合や年齢構成などにより、指標として掲げることは難しいため」というのは現時点での答えとして書いてあるが、特定事業主行動計画を策定する予定なのでその時に目標については記載予定ですとは書けないということですよ。

協働文化推進課長 具体がいつごろになるか、総務課でも期限としては決まっていますが、まだスケジュール的なものが見通せないということですので。現地点ではこういう形をお願いしたいと思う。

三澤会長 それでは議題（2）についてはこれで終了いたします。

この委員会の中では最終決定になるわけですが、9ページの（3）など、配置等を他のページと統一したほうが良いというところなどは、事務局と連絡して体裁を整えたほうが良いところがあれば後ほどやりたいと思いますので、ご一任いただいてよろしいか。

推進協議会委員 了承

5 その他

三澤会長 委員のみなさま何かございますか。

小島委員 来年度のスケジュールは。

山口主査 このプランができあがりまして、第1回目の会議は27年度の各課からの事業報告をとりまとめまして、新しいプランの28年度の予定をお示ししますということになりますと、6月に第1回の会議を開催することになると見込んでいる。例年ですと全部で3回、だいたい6月、9月、3月に行われる予定。今年度はプランの策定がありましたので、回数が多い形となった。

協働文化推進課長 例年ですと、最後の会議に翌年度の実施計画の具体的な内容を各課から集約したものをお示ししたのですが、プランはまだ策定中で、策定後に各課から詳細の事業内容について集約させていただきますので、来年度の個々の詳しい事業内容につきましては現段階ではお示しできないものですから、新年度の1回目の会議の時に合わせてご報告させていただく予定になっている。

委員の皆さまから素案の部分、パブコメの回答の部分ご意見いただきましてこのようにということで方向性について、事務局のほうで回答させていただきました最終的なものは委員の皆さまにおはかりしたいのですが、三澤会長にご確認いただいてご了解いただいた形で町の内部の会議、議会への報告という形で進めさせていただければと思う。委員の皆さまよろしいでしょうか。本日ご指摘いただいていた修正しますという部分は事務局と三澤会長の間で最終確認させていただきますので、よろしくお願いいたします。

三澤会長 それでは本日の日程を終了いたします。進行を事務局にお返し致します。

協働文化推進課長 三澤会長、長時間の議事進行お疲れさまでした。今

	<p>年度最後の会議になりますけれど、来年度も引き続きよろしく お願いいたします。最後に閉会の言葉を橋本副会長にお願いし たいと思います。</p> <p>橋本副会長 皆さまお疲れさまでした。いろいろなご意見がでましたの で、良い次のプランができると思います。ありがとうございました。</p>
配付資料	<p>○資料No.1 第4次さむかわ男女共同参画プラン（案）パブリックコ メント実施結果報告書（案）</p> <p>○資料No.2 第4次さむかわ男女共同参画プラン（素案）</p> <p>○資料No.3 第4次さむかわ男女共同参画プラン（素案）に対する修 正一覧（10／20推進協議会終了後）</p> <p>○資料No.4 付属資料</p>
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	<p>・加藤美千枝委員 ・山本千恵委員</p> <p style="text-align: right;">（平成28年9月28日確定）</p>